

折りたたみ歩行車

型番：RE463L 組立・取扱説明書

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり正しくお使い下さい。
また、本書はご使用の際にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。
※製品の仕様は予告なく変更することがございます。

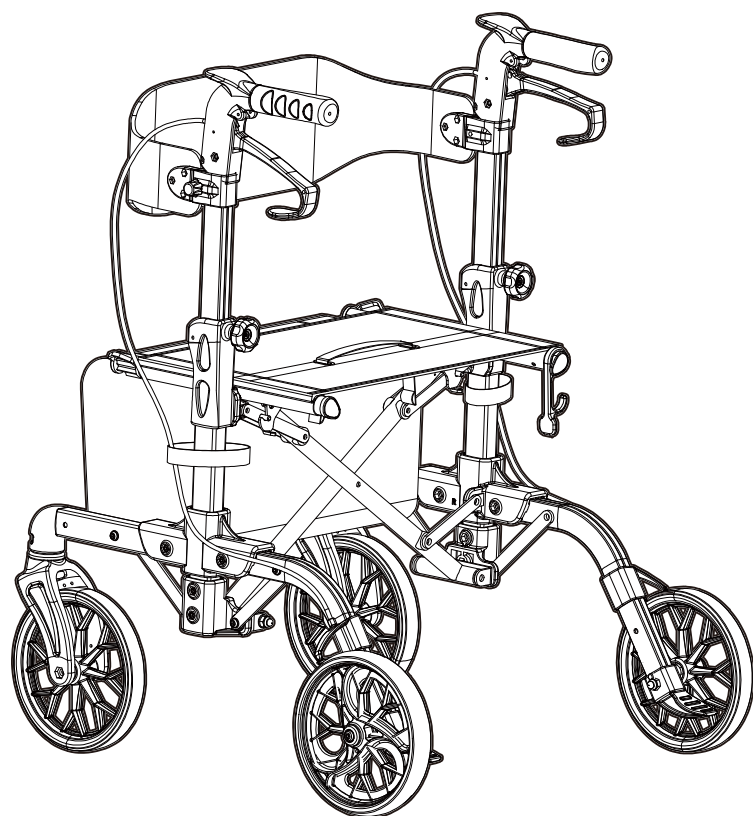
取り扱い説明書は適宜更新しております。
最新版を弊社 HP からダウンロードしていただけます。
定期的にご確認をお願いします。

https://onemode.co.jp/?page_id=411



⚠️ ご注意

本書は製品を安全にお使いいただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。必ずお読み下さい。



【目次】

目次	01
1. 安全に関するご注意	02-04
2. 各部名称・パーツリスト	05-06
3. 組立方法	07-09
4. 使用方法	10-11
5. 安全のためのチェックリスト	12
6. お手入れ・保管について	13
7. メモ欄	14
8. 製品仕様	15
9. 保証規定・製品保証書	16

この取扱説明書は、イラストと実車が一部異なる場合がございます。

保証書は本書裏表紙に記載されています。お買い上げの販売店の納品書と一緒に保管ください。

輸入元
ワンモード株式会社
〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町 1-342-30

ご購入後の製品についてのご質問等は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。







取扱説明書 部品袋

MADE IN CHINA

安全に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示マークの説明 ※正しい取扱いに関する必要事項をシンボルマークで表示しています。

 警告	取扱いを誤った場合、死亡または、重傷に至る可能性が想定される場合を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、負傷に至る可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。
 禁止	してはいけないことを示しています。
 必ず守る	必ずしなければならないことを示しています。

警告

※以下の注意点以外であっても、無理な使用はおやめください。事故の原因になります。

禁止

- この製品は、歩行車です。それ以外の用途には使用しないでください。
- 手が不自由で歩行車の操作が困難な場合は使用しないでください。
- エスカレーターでは使用しないでください。介助者がいる場合でも、転倒などにより重大な事故の恐れがあります。
- 歩行車に座る際、ブレーキレバーを下方方向に下げ、車輪がロックされていることを確認してからお座りください。
- ブレーキレバーの作動方向以外に力を加えないでください。また、必要以上に力を加えないでください。ブレーキが変形・破損する恐れがあります。
- 倒れかかるような急激な座り方はしないでください。また、座面部以外に座らないでください。転倒または壊れてケガをする恐れがあります。
- 歩行車に座った状態で前方の地面に置いてある物を拾うなど、大きく前傾姿勢をとらないでください。歩行車が転倒し危険です。
- 屋外に放置すると、サビなどにより製品が劣化します。保管は屋内でおこなってください。
- 歩行車を火気に近づけないでください。シート部が燃えたり、プラスチック等が変形したり、熱くなった金属部分でやけどをするなど危険です。熱湯消毒についても同様です。

警告

禁止

- 勝手に改造・分解しないでください。強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故の原因にもなりますので、絶対に改造・分解しないでください。本来の装着品を外してのご利用も改造の対象となります。
- この歩行車は、一人用です。複数の人数で使用しないでください。二人以上で乗ると破損・事故の原因となります。
- 踏み切りを横断の際は、前輪をレールに対して直角にして通行してください。斜めの角度で進入するとレールの溝に車輪がはまって危険です。必ず介助者と一緒にわたってください。
- 傾斜地での走行は、歩行車が予想外の方向に進むなど、大変危険です。
- 坂道や傾斜のあるところで駐車ならびに座らないでください。安定性が悪くなり、転倒の恐れがあり大変危険です。絶対にしないでください。傾斜地では駐車ブレーキをかけても歩行車が動く場合があり、大変危険です。滑りやすい床面では駐車ブレーキをかけても歩行車が動く場合があります。
- 段差の前では一旦停止してステップ板を利用し前輪を持ち上げて乗り越えてください。決して勢いをつけて乗り越えないでください。大変危険です。また、フレーム及び車輪等の損傷を受けます。
- 大きな段差のある場所・階段では使用しないでください。
- 雨ざらしにしたり、雨の日のご使用、ぬかるみ、水たまり等のある場所でのご使用はお避けください。車輪のサビ等により故障の原因になります。
- 歩行車を投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。
- 可動部に指や手を挟まないようにしてください。ケガの原因となります。
- 小さなお子様には使用させたり、遊ばせたりしないでください。

必ず守る

- 道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。

注意

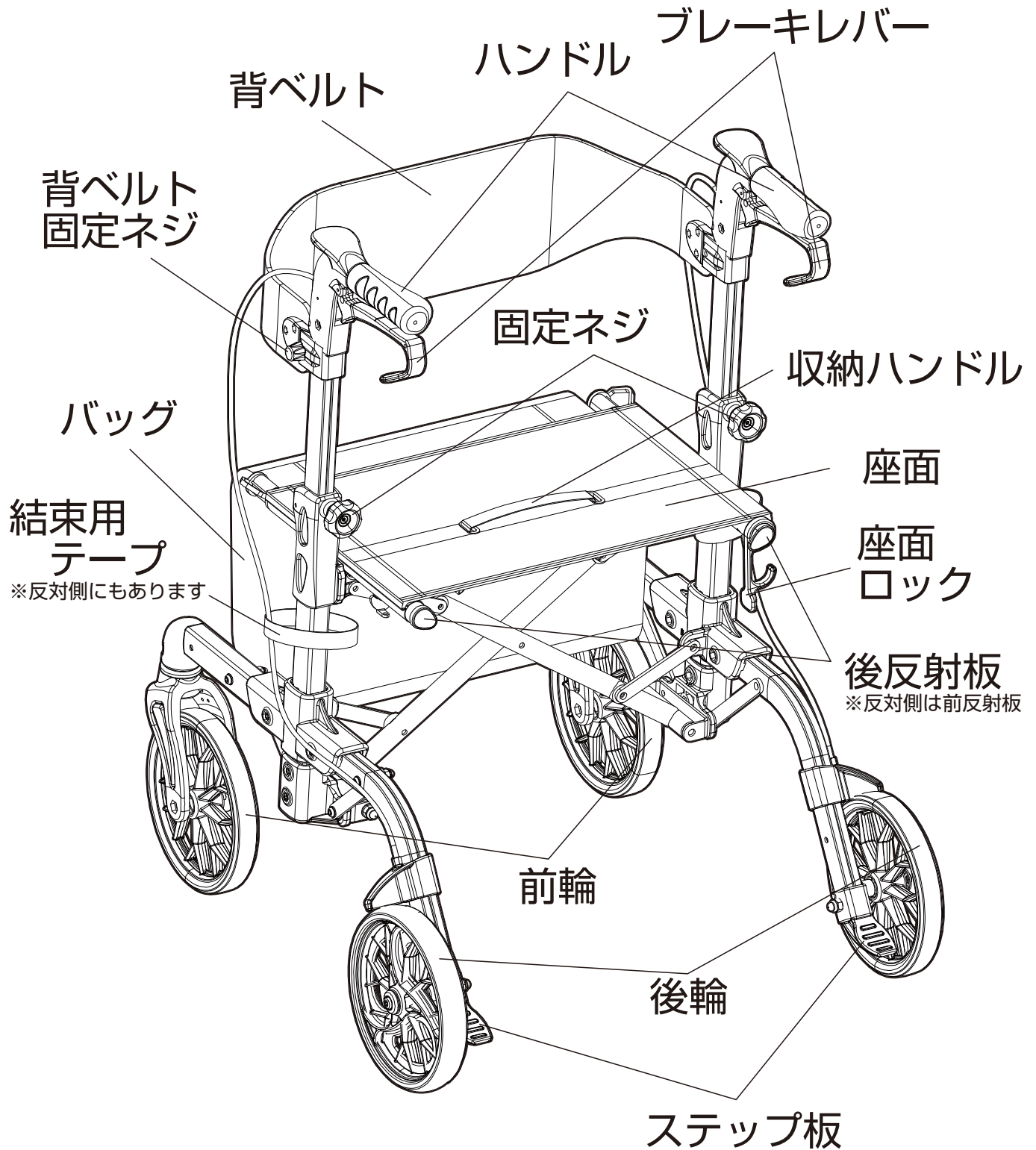
禁止

- この製品は車いすではありません。人を乗せたまま移動しないでください。
- シートには立たないでください。転倒の恐れがあります。
- バッグには、5kg以上の荷物はいれないでください。
- 走行する際には片手で操作しないでください。傘をさしながら、また片手に荷物を持ちながらの片手操作ではバランスを崩す原因にもなります。両手で操作し、バランスを保ちながらゆっくりと歩行してください。
- 事故やサビ・破損の原因になりますので、下記のようなところに製品や部品を放置しないでください。
 - ・車道に近いところ
 - ・路面に段差や凸凹のあるところ
 - ・海沿いの屋外（潮風の当たるところ）
 - ・ほこりの多い場所
 - ・非常口、消火器、消火栓の前
 - ・直射日光の当たる場所（車内も含む）
 - ・ストーブなど火気を使用し高温になる場所
 - ・子供がいたずらをする恐れのある場所
 - ・人通りのあるところ
 - ・湿気の多いところ
 - ・雨風の当たるところ
 - ・坂道
 - ・暑い日や寒い日の戸外

必ず守る

- ハンドルグリップは、確実にロックされているか確認してください。
- ハンドルグリップは、必ず左右同じ高さにしてください。
- ブレーキは必ず手で操作してください。
- 回転している前輪・後輪に指等を差し込まないように注意してください。
- 次のような場所・状況でのご使用は危険です。使用を避けるか、介助者に同行してもらってください。
 - ・エスカレーター・階段・坂道・ぬかるみ
 - ・交通量の多い道路・踏み切り・防止柵のない側溝や路肩付近など
 - ・凹凸の激しい道・夜間、雨や雪、風の強い日
 - ・凍結路・深い砂利道や砂道・その他危険が予想される場所
- 夜間、雨降りは通行者や車から発見しにくくなります。充分にご注意ください。
- 歩行時や段差を乗り越えるときには、車輪が真っ直ぐになっていることを確認してから走行してください。斜めに進入したり、車輪が斜めになった状態で使用すると段差を乗り越えられなくなったり、車輪の破損や車輪からタイヤが外れる原因になったり、事故の原因となる恐れがあり大変危険です。
- 認知症の方がご使用される場合は、必ず介助者が付き添ってください。また、歩行車の部品等を飲み込むことや一度かけた駐車ブレーキを不意に解除されることがありますので、充分ご注意ください。

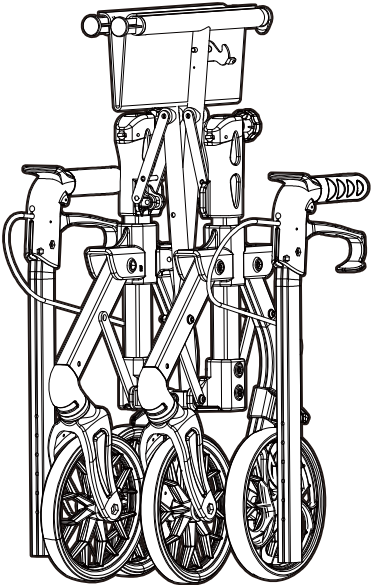
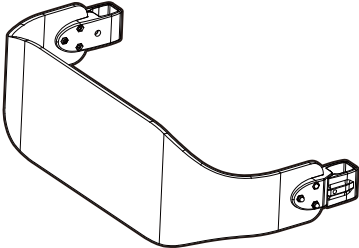
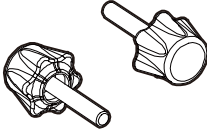
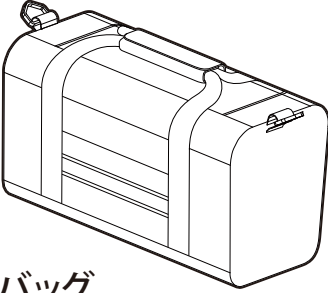
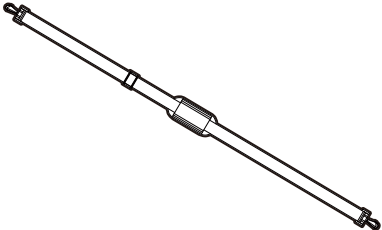
各部名称



パーツリスト

商品がお手元に届きましたら、すぐに開封し、以下のパーツが揃っているかを必ずご確認ください。万が一、不足や不備があった場合はお買い求めのお店までご連絡下さい。

パーツ

 <p>A. 本体 ×1</p>	 <p>B. 背ベルト ×1</p>	 <p>C. 背ベルト固定ネジ ×2 ※背ベルトに付いています</p>
 <p>D. バッグ ×1</p>	 <p>E. ショルダーストラップ ×1 ※D. バッグ内に入っています</p>	

ネジなどが緩んだ場合は、六角レンチ（4mm/5mm）スパナ（10mm/13mm）をご用意し締め直してください。

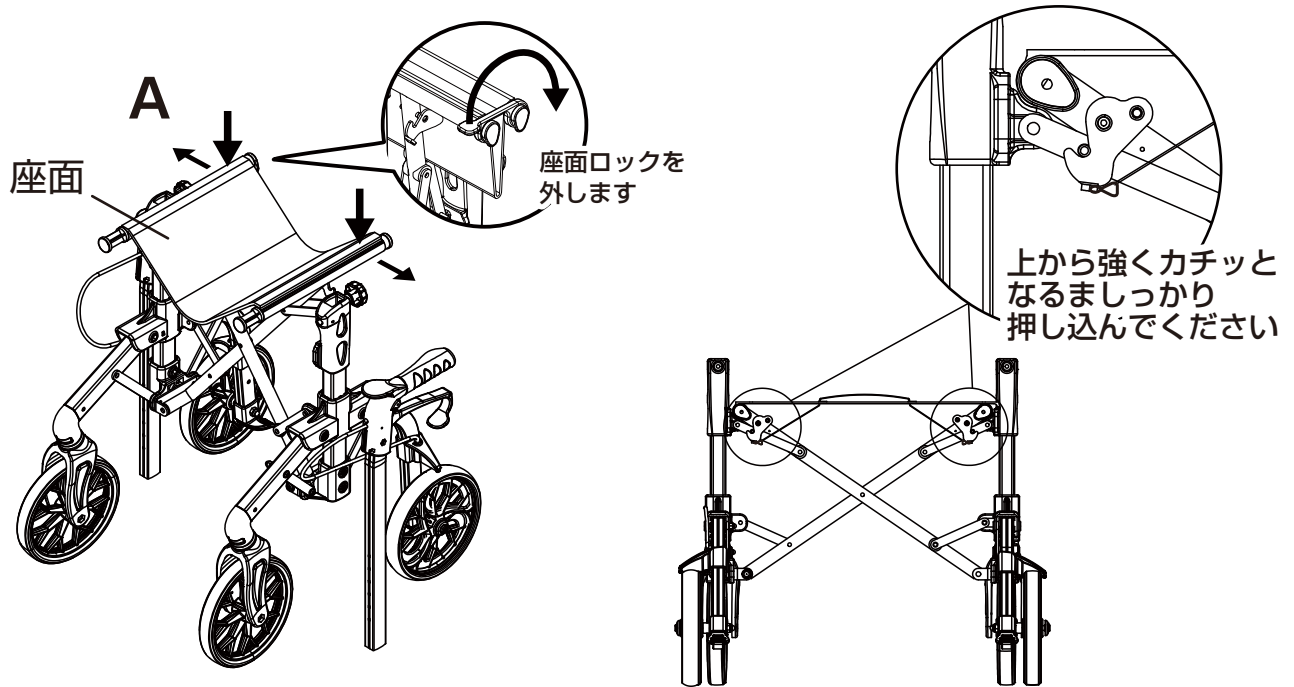
製品の特徴・使用目的

この製品は、自立歩行が可能な方の歩行機能を補う歩行車です。
また、ゆっくり歩行することを想定して作られています。

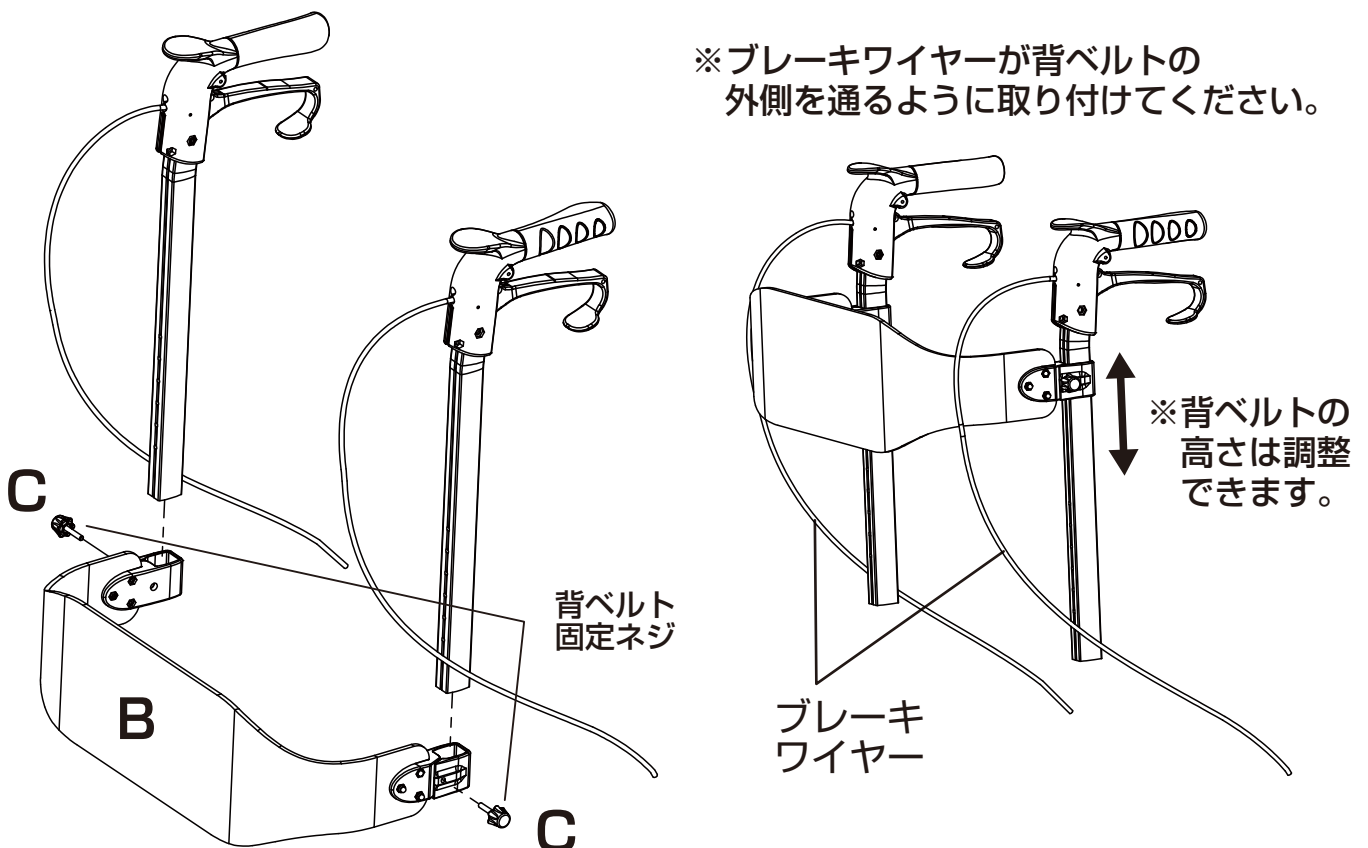
- ハンドルの高さを調整できます。
- ブレーキレバーを上方向に上げるように握るとブレーキがかかり、下方向に下げることによって車輪がロックされ駐車ブレーキがかかります。
- 付属のバッグは装着でき、外せばショルダーバッグとして使用できます。
- 疲れたときには、シートに座って休むことができます。

組立方法

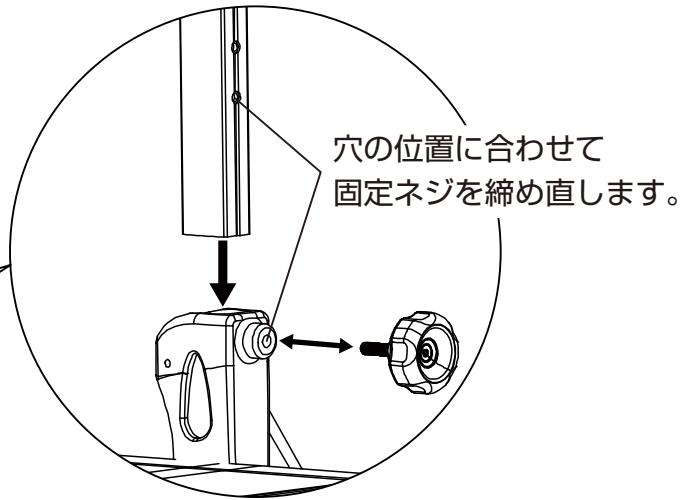
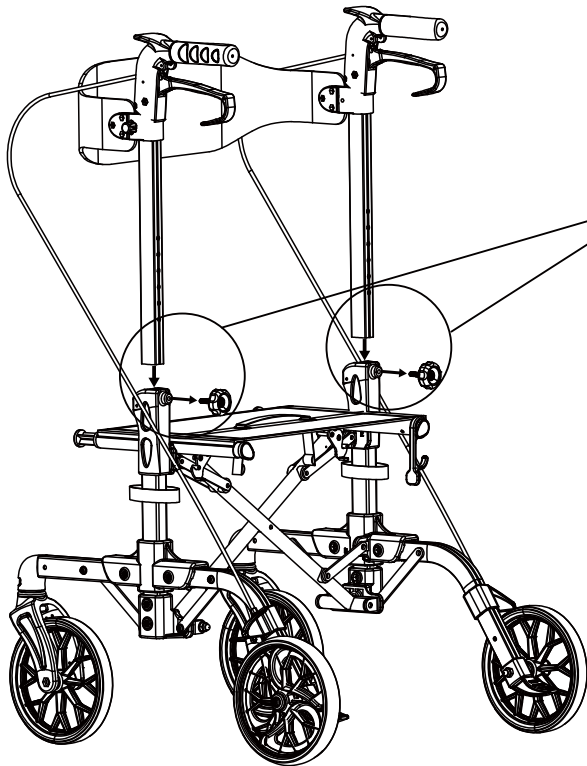
- 1 A. 本体の座面ロックを外し、座面の左右のバーを左右に開きながら上から押します。



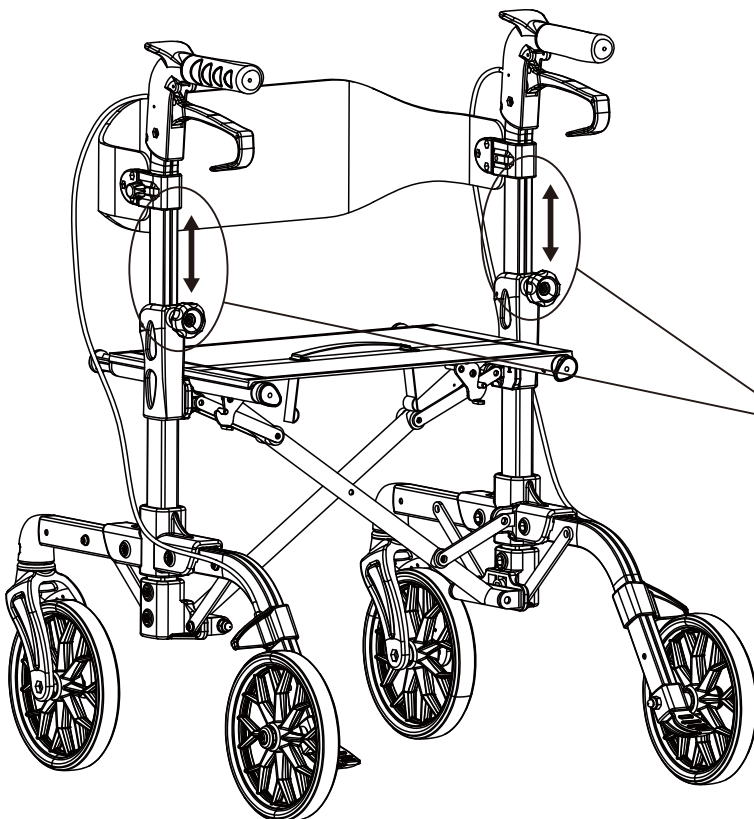
- 2 B. 背ベルトの固定ネジを外し図のようにハンドルを挿し再度固定ネジを取り付けます。



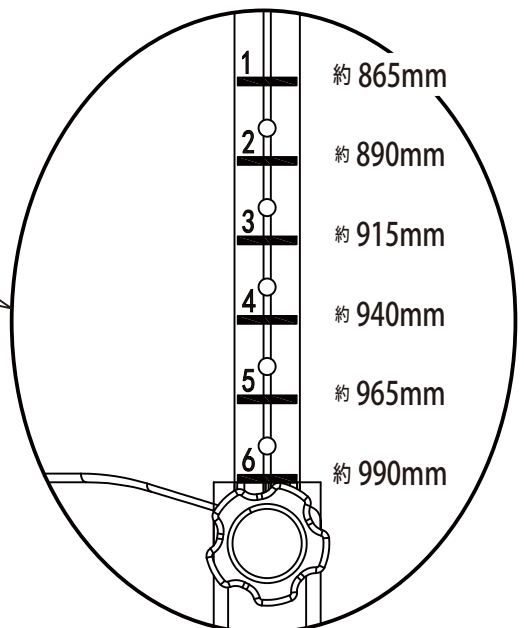
3 本体についているオレンジ色の固定ネジを外し、**2**を挿し、外した固定ネジを再度取り付ける。



穴の位置で止まりますが、固定されているわけではありませんので固定ネジで必ず固定してください。



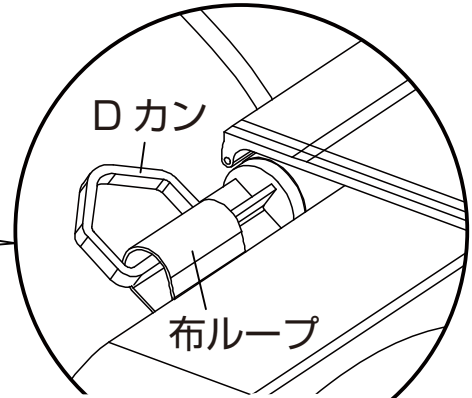
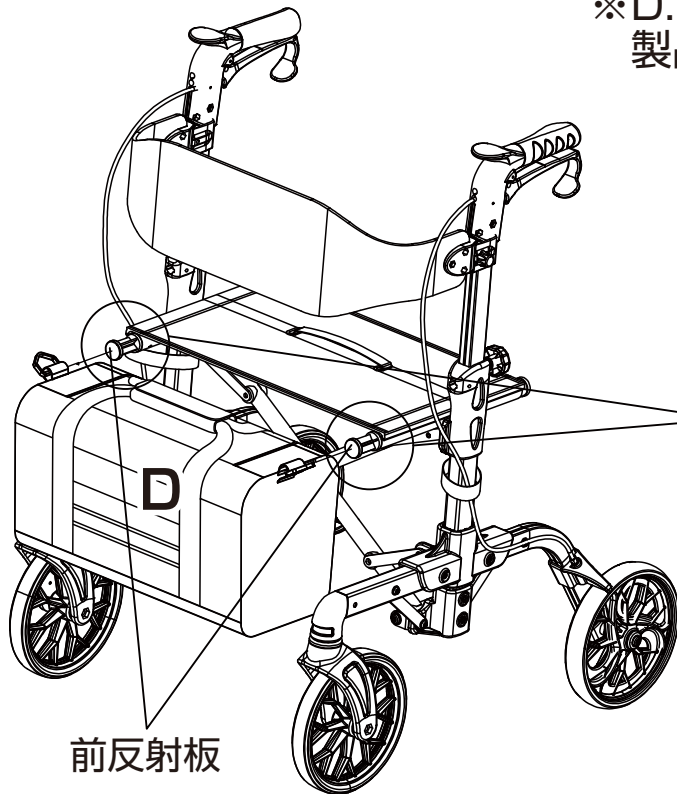
1～6の使いやすい位置で固定してください。



※必ず左右の高さをそろえてください。

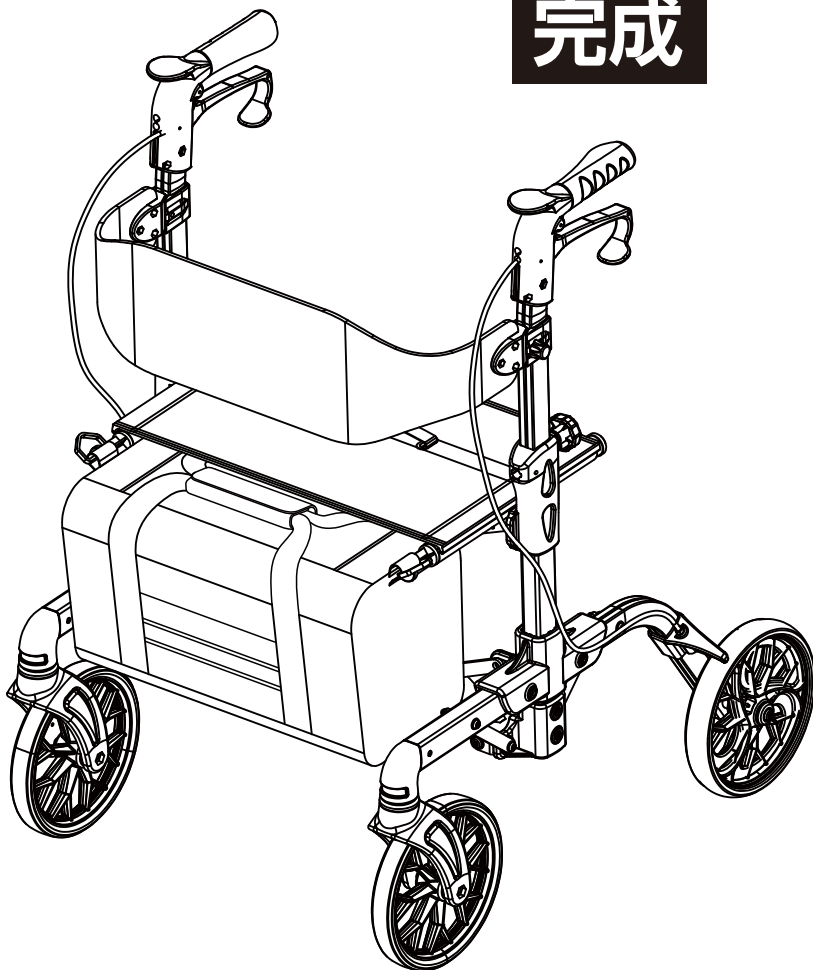
4 前反射板の突起部分に D. バッグを取り付ける

※D. バッグを取り付けなくても製品はご使用いただけます。

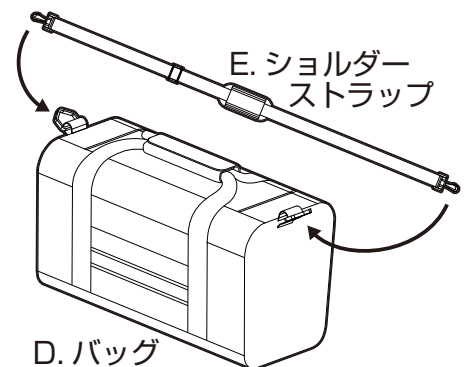


前反射板の突起部分を D カンの布ループ部分に通してバッグを取り付けます。

完成



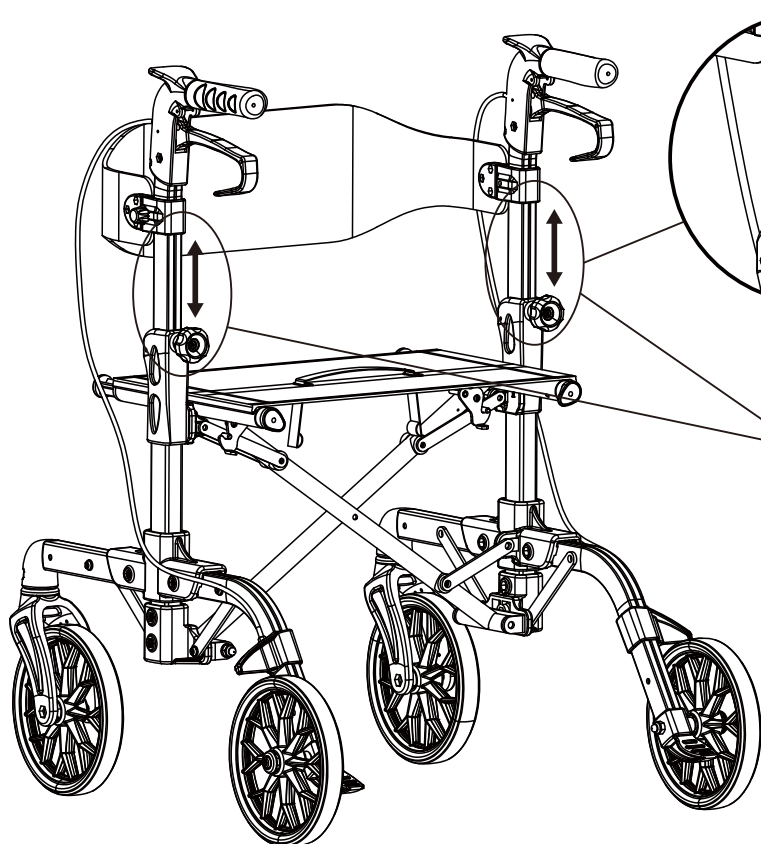
D. バッグに E. ショルダーストラップを取り付けると持ち運びに便利なショルダーバッグとして利用できます。



使用方法

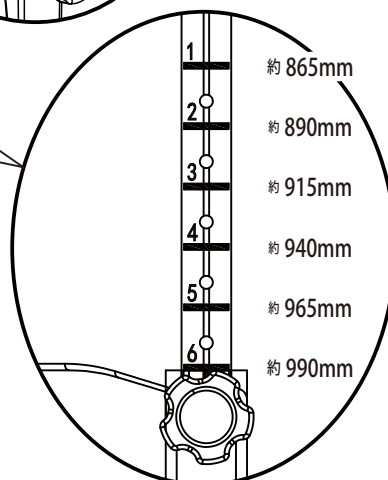
■ハンドルの高さ調整

※ハンドル高さは必ず左右均等になるよう調整してください。



固定ネジを反時計回りに回しネジを緩めハンドルの高さを調整してください。高さ調整後、時計回りに回ししっかりネジを締めてください。

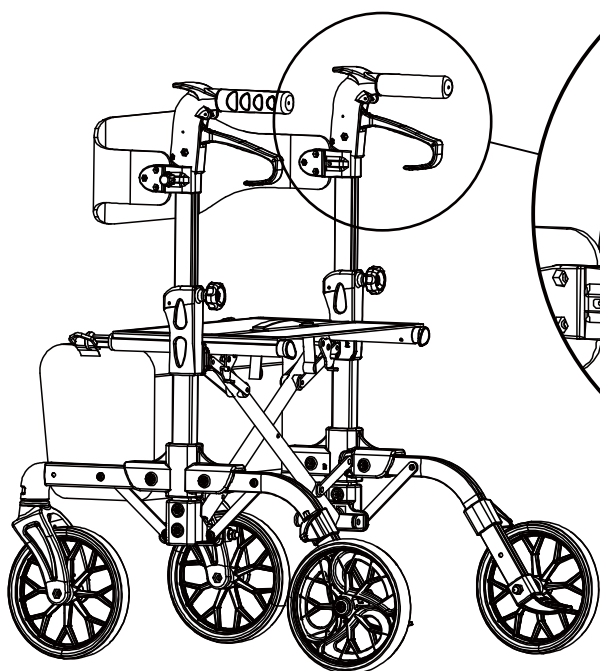
固定ネジ



1～6の使いやすい位置で固定してください。

■ブレーキのかかけた

左右のブレーキレバーを同時に握ってください。



歩行中のブレーキ

ブレーキレバーを握るとブレーキが作動し、放すと解除されます。

駐車ブレーキ

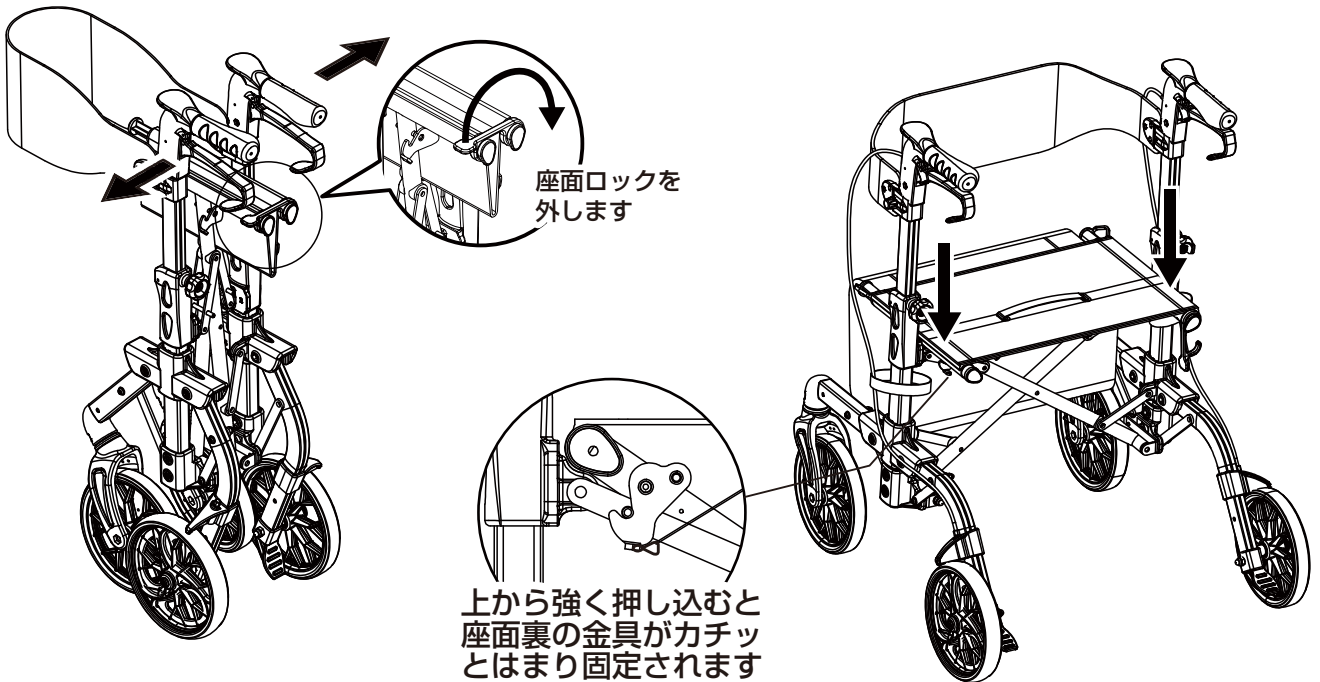
ブレーキレバーを下げると固定され、放してもブレーキが作動した状態になります。一度握ると解除されます。

⚠ 注意

ブレーキは左右で独立しています。片側だけのブレーキは大変危険です。

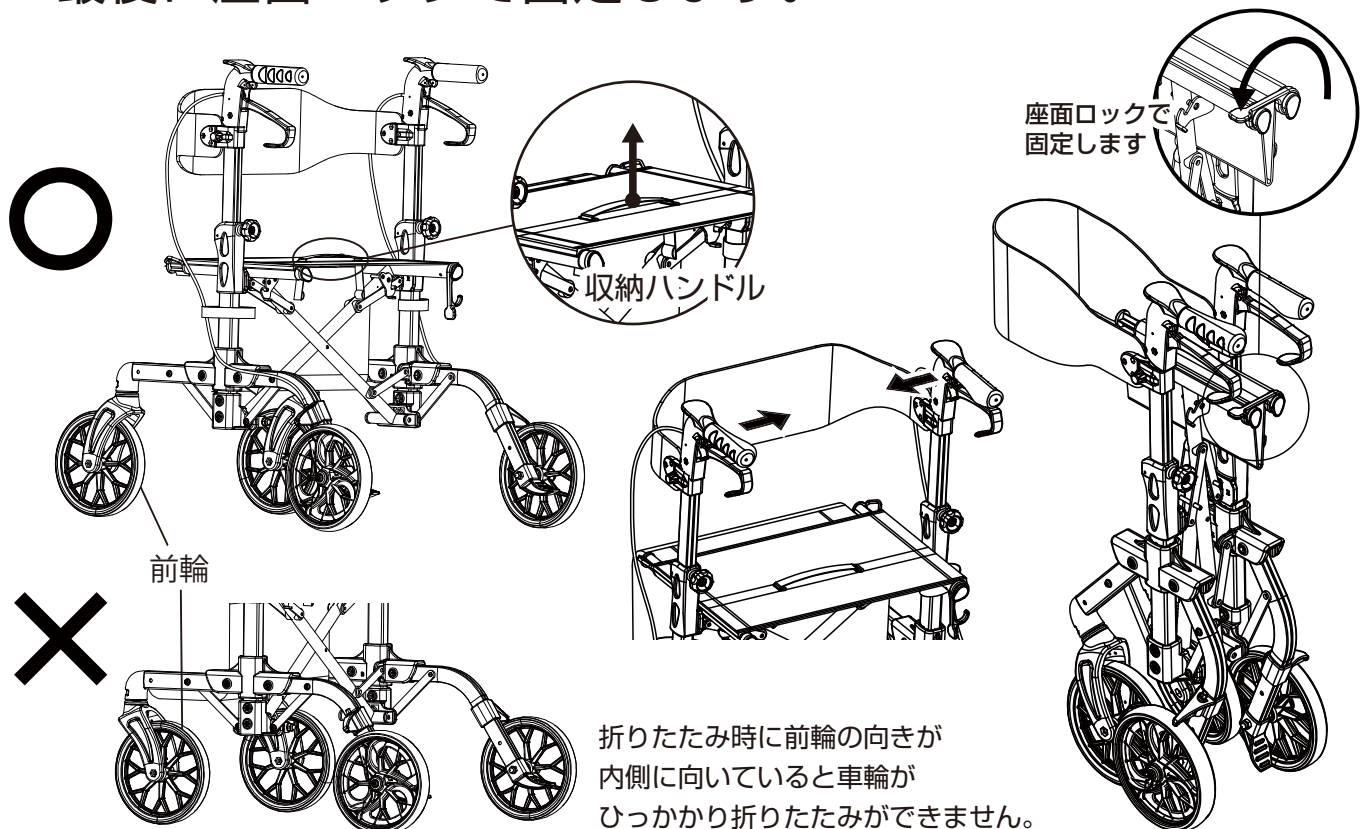
■広げ方

座面ロックを外し、ハンドルを持ち左右に広げます。ある程度広げたら座面の矢印の位置を下にカチッとなるまで強く押します。



■折りたたみ方

バッグを外し、前輪の向きを図の○のようにします。収納ハンドルを上へ引き上げハンドルを内側に押します。最後に座面ロックで固定します。



安全のためのチェックリスト

お使いになる前に

この製品を安全にお使いいただくためには、日ごろのお手入れと点検整備が必要です。下記チェックリストを必ず確認の上ご使用ください。

ハンドルの高さは左右合っていますか？

P.10を参照し、ハンドル位置を1～6の使いやすい位置で固定してください。ハンドル位置調整の際、必ずオレンジ色の固定ネジもしっかりと締めてください。。

ブレーキはしっかり効きますか？

ご使用前には必ずブレーキの効き具合を確認し、効きが悪いときにはご使用をお止めください。

ブレーキは、ブレーキレバーを上方向に上げるように握るとブレーキがかかり、下方向に下げることによって車輪がロックされ駐車ブレーキがかかります。

前輪および後輪の確認

車輪のタイヤ部分に摩耗や劣化により走行に支障がある場合は使用を中止してください。

ネジの緩みはありませんか？

ネジ、ノブ類の緩みがないことを確認してください。ネジが緩んでいたら必ずしっかりと締めてください。締めてもすぐ緩む、締まらないなどの不具合があれば、直ちにご使用をお止めください。

お手入れ・保管について

■汚れていませんか？

ホコリや泥などで汚れたときはそのままにしておかず、早めに濡れ雑巾等でふき取ってください。汚れのひどいときは中性洗剤をお使いください。

■変な音がしませんか？

変な音がする場合、どこでその音が発生しているかを確認してください。車輪のベアリング部の油分が不足しているなどの原因が考えられます。市販の潤滑剤などを使用してください。

■洗淨の際には、水、お湯または中性洗剤をご使用ください。

洗淨後は、乾燥させてください。カビやサビの原因になります。

警告

●異常が見つかったら、直ちに使用を中止して販売店へご相談ください。

保管についてのお願い

製品は安全な場所に保管してください。

注意

●事故やサビ・破損の原因になりますので、下記のようなところに製品や部品を放置しないでください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ・車道に近いところ | ・人通りのあるところ |
| ・路面に段差や凸凹のあるところ | ・湿気の多いところ |
| ・海沿いの屋外（潮風の当たるところ） | ・雨風の当たるところ |
| ・ほこりの多い場所 | ・坂道 |
| ・非常口、消火器、消火栓の前 | ・暑い日や寒い日の戸外 |
| ・直射日光の当たる場所（車内も含む） | ・子供がいたずらをする恐れのある場所 |
| ・ストーブなど火気を使用し高温になる場所 | |

製品仕様

..... 記載の寸法や状態は設計値であり、実際の車体とは多少誤差がある場合があります。

	標準仕様・規格
品番	RE463L
材質（本体）	フレーム：アルミニウム 車輪：PVC
（座面）	ポリエステル
全幅	約 300mm（折り畳み時） / 約 630mm（展開時）
奥行き	約 350mm（折り畳み時） / 約 705mm（展開時）
グリップ（内幅）	約 440mm
座面サイズ	約 幅 440mm × 奥行 275mm
座面高さ	約 495mm
ハンドル高さ	約 865mm ~ 990mm
前輪	直径 約 200mm
後輪	直径 約 200mm
耐荷重	80kg
重量	約 9.2kg

保証規定

弊社の定める保証とは、保証期間内に正常な使用状態において故障が生じた場合に限り、交換を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で、お買い上げ日より1年以内に故障した場合は交換いたします。（下記記載の消耗部品は含みません。）
2. 無償保証期間内でも次の場合には保証適用除外となります。
 - イ) ご使用による消耗および取扱不注意による破損
例) タイヤの磨耗および破損、カゴ、シート、ステップ板の破損等
 - ロ) 地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失・破損
 - ハ) お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損
 - ニ) 保全上の不備および改造等による破損
 - ホ) 一般的に車いすが走行しない場所、または特殊な状態での使用による破損
 - ヘ) 製品本来の使用目的にそぐわない使用による故障および破損
 - ト) 日本国外でご使用の場合
 - チ) 保証書の提示がない場合

■消耗部品 ※部品販売はしておりません。
・車輪 ・シート類 ・カゴ
3. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
4. 保証書にご記入頂いた個人情報、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検の為に記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

製品保証書

本保証書はお買い上げの販売店の購入明細書(納品書等)といっしょに保管してください。

